

# JATピックアップ

JA広報誌の記事を中心に毎月のトピックスを紹介します。

2011年4月



## 春耕 本番!

例年になく春の訪れが早いなか、春耕作業は本番を迎えました。ビートのポット作業、長いも、馬鈴薯の種子切り作業といった雪解けまでの作業を経て、畑のあちこちで耕起作業のトラクター音がこだまし、ビートの移植や馬鈴薯の植え付け作業が4月下旬から始まっています。昨年、一昨年と天候不順に泣かされた十勝野で、「今年こそは豊穡の秋に」というのが生産者の願いです。

## 越冬春ねぎ 出荷ピーク

越冬した春ねぎの収穫作業が札内地区でピークを迎えています。春ねぎは軟らかく風味が豊か。需要も多く、市場では比較的高値で取引されています。

途別地区の横山孝さん宅では30aを作付けし、4月中旬から収穫スタート。機械掘りした長ねぎを手際よく皮むきし、形を揃え、200gを袋詰めして出荷しています。選果作業は5月中旬まで続き、帯広市場に出荷されます。

当組合では長ねぎ増産に向けた施設整備により栽培を奨励しており、今年度は全体で6・2haの作付けがされ、10月頃が組合の選果作業のピークとなる見込みです。

